

県下一周駅伝

大村・東彼3連覇

2長崎位小学生選手が初の力走



3年連続総合優勝の大村・東彼のアンカー、福田遥香(口加高1年)のフィニッシュ
 長崎市茂里町、長崎新聞社前

女子総合も大村・東彼V

第56回郡市対抗県下一周駅伝大会(長崎新聞社、長崎陸上競技協会主催、浦上自動車学校、コカ・コーラウエストグループ、親和銀行協賛)は16日から3日間、長崎市茂里町の長崎新聞社前をスタート・ゴールとする計42区間、407・4キロで行われた。第1日、第2日は大村・東彼と長崎が激しい首位争いを続けたが、大村東彼がややリード、最終日の18日も安定したレース運びで日間首位とし、2位長崎に16分5秒の大差をつけ総合3連覇を果たした。

最終日は、雲仙市小浜町をスタート、島原半島を左回りに一周し、諫早市や東長崎を経由して長崎市に戻る18区間、131・5キロで行われた。大村・東彼は第1日、第2日の累計で長崎に4分8秒差をつけ最終日に臨み、同日も長崎との差をさらに広げ、アンカーの福田遥香(口加高1年)が累計タイム21時間23分22秒で長崎市茂里町の長崎新聞社前にフィニッシュした。3位は西彼・西海、4位に佐世保が入った。女子総合も52分40秒で大村・東彼が優勝した。

今大会から最終日に小学生2区間が加わり、諫早市の県立総合運動公園陸上競技場で、小学生ランナーが女子、男子の順でトラックをそれぞれ1区間1・5キロずつ力走、保護者らの熱い声援を受けた。

総合順位

- ①大村・東彼 21時間23分22秒
- ②長崎 21時間39分27秒
- ③西彼・西海 21時間57分00秒
- ④佐世保 21時間58分24秒
- ⑤諫早 22時間7分31秒
- ⑥五島 22時間26分11秒
- ⑦島原半島 22時間42分56秒
- ⑧対馬 22時間46分29秒
- ⑨北松・松浦 22時間49分25秒
- ⑩平戸 22時間54分45秒
- ⑪壱岐 23時間2分7秒